

1. 中医協「医療経済実態調査」の問題点

中医協「医療経済実態調査」によると、病院・診療所とも個人立は医業収入が前回比増(増収)、また診療所(個人)では医業収支差も前回比増(増益)であった。

しかし、「TKC医業経営指標」によると、病院・診療所、法人・個人のいずれにおいても、前年比減収・減益であった。

中医協「医療経済実態調査」前回調査との比較
-2007年6月実施-

非定点の6月単月調査(含国公立)
介護保険事業に係る収入のない医療機関の集計

	一般病院		一般診療所		
	法人	個人	法人	個人	
医業収入の前回比	-13.0%	22.9%	-2.8%	2.2%	
医業収支差の前回比*1	-	-19.4%	-32.5%	2.2%	
医業収支差率*2	-5.7%	5.7%	8.7%	34.8%	
施設数	前回	559	42	427	633
	今回	395	19	441	583

- *1 一般病院(法人)の前回比は、前回赤字、今回も赤字のため計算できない
- *2 個人の医業収支差は院長報酬控除前
- *3 個人の損益分岐点比率は計算できない

「TKC医業経営指標」前年比
2006年4月~2007年3月決算期

定点の決算データ(除国公立)

	病院		診療所	
	法人	個人	法人	個人
医業収入	-0.1%	-2.4%	-0.7%	-0.4%
経常利益	-21.8%	-11.7%	-16.1%	-0.1%
経常利益率*4	3.9%	10.9%	5.2%	27.8%
施設数	656	44	3,011	2,406

- *4 個人の経常利益は院長報酬控除前
- *5 個人の損益分岐点比率は計算できない

減収
減益

*TKC医業経営指標は、TKC全国会(会員数約9,500名の税理士、公認会計士のネットワーク)による編纂。第三者による信頼性の高いデータとして日本医師会が提供を受け、分析している。